# 平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日

株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 上場取引所 上場会社名

コード番号 7829

URL http://www.samantha.co.jp

代 表 者 (役職名)代表取締役社長

(役職名) 専務取締役

(氏名)寺田 和正 (氏名)古市 知元

(TEL) 03 (5412) 8193

四半期報告書提出予定日

平成28年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

# 1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日~平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

問合せ先責任者

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
28年2月期第3四半期 27年2月期第3四半期	百万円 30,837 27,891	% 10. 6 33. 1	百万円 1,356 1,665	% △18. 6 217. 7	百万円 1, 373 1, 765	% △22. 2 151. 5	百万円 337 739	% △54. 4 257. 2

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 324百万円(△54.6%) 27年2月期第3四半期 713百万円(303.6%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
28年2月期第3四半期	9. 55	_
27年2月期第3四半期	20. 96	_

#### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年2月期第3四半期	百万円 25, 602	百万円 9.769	% 37. 4
27年2月期	21, 986	9, 868	43. 9

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 9,567百万円 27年2月期 9,653百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
27年2月期	<u> </u>	5. 00	<del>-</del>	7. 00	12. 00		
28年2月期	_	5. 00	_				
28年2月期(予想)		2 - 15		5. 00	10. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年2月期の連結業績予想 (平成27年3月1日~平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

							\ / 0	<u> </u>	//_////////////////////////////////
	売上高	5	営業利:	益	経常利	益	当期純利	益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47, 370	17. 6	3, 950	20. 3	3, 900	15. 7	1, 760	18. 7	49. 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Samantha Thavasa Shanghai Trading Limited 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無② ①以外の会計方針の変更: 無③ 会計上の見積りの変更: 無④ 修正再表示: 無

(4)発行済株式数(普通株式)

1	期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	35, 296, 000株	27年2月期	35, 296, 000株
2	期末自己株式数	28年2月期3Q	—株	27年2月期	—株
3	期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	35, 296, 000株	27年2月期3Q	35, 296, 000株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	0
(継続企業の前提に関する注記)	0
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	0
(セグメント情報等)	.0

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策を背景に、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方、円安による輸入価格上昇の影響、中国経済の減速懸念など、景気の 先行については不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、外国人旅行者の増加によるインバウンド効果等により好調に推移する一方で、円安による物価の上昇や消費税増税後の節約志向などの、消費マインドの抑制が懸念される状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を事業戦略にかかげ、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。また、当社グループの2015年のテーマを「記念日」として、様々なキャンペーンを実施してまいりました。

#### <店舗展開について>

出店戦略として、多くの話題スポットや新しい地域への出店、大型商業施設との取組みなどを行ってまいりました。事業別の出店数、主な店舗は以下のとおりであります。

バッグ事業においては、47店舗を出店いたしました。大阪の万博記念公園にオープンした大型複合施設EXPOCITY に、「サマンサタバサプチチョイス&アニバーサリー ららぽーとEXPOCITY店」「サマンサ&シュエットギャラリーららぽーとEXPOCITY店」の2店舗を出店いたしました。また、「サマンサ&シュエット」の出店を加速し、「サマンサ&シュエット ギャラリー 名古屋ゲートウォーク店」など16店舗を出店いたしました。また、リニューアルオープンしたルクア大阪に西日本の旗艦店になる「サマンサタバサ ターミナル7 ルクア大阪店」を出店いたしました。また、国内最大級の商業施設であるイオンレイクタウンに、「サマンサベガ イオンレイクタウンkaze店」など、4ブランド出店いたしました。また、沖縄県では初出店となる「サマンサベガ&シュエット ギャラリー イオン沖縄ライカム店」を出店いたしました。さらに、新コンセプトショップ「ミミマルシェ サマンサタバサプチチョイス」をルミネ有楽町に、新業態店舗「サマンサ&シュエット スイーツ カフェ」を大阪ステーションシティノースゲートビルディング西館商業施設「LUCUA 1100」(ルクア イーレ)に出店いたしました。海外においては、韓国、シンガポールでそれぞれ 2店舗、香港、中国でそれぞれ 1店舗の出店を行い、合計 6店舗出店いたしました。

ジュエリー事業においては、「サマンサティアラ&シルヴァ 仙台エスパル店」を出店いたしました。また、ジュエリーブランド「サマンサティアラ」を大手ファッション通販サイトZOZOTOWNにソフトオープンし、「サマンサティアラ」のプロモーショナルモデル紗栄子さんとのコラボレーション商品を中心に取り扱いを開始いたしました。

アパレル事業においては、29店舗出店いたしました。株式会社ルミネと共同開発した新ブランド「And Couture(アンド クチュール)」を、ルミネ立川、ルミネ大宮などに出店いたしました。また、昨年度より展開しているブランド「REDYAZEL(レディアゼル)」をSHIBUYA109、LUCUA 1100(ルクア イーレ)、天神地下街、ルミネ横浜などに、「MULLER(ミューラー)」を池袋パルコ、ルミネエスト新宿などに出店いたしました。

その結果、サマンサタバサグループ合計でブランド変更を含め、前年度末比で36店舗増加し、当第3四半期末店舗数は452店舗となりました。

## <プロモーション活動について>

プロモーション活動としては、積極的なCMプロモーションや、多数のファッション誌への掲載、ファッションショーへの協賛などを継続して行ってまいりました。

バッグ事業においては、世界のトップモデルでサマンサミューズのミランダ・カー出演の「Samantha Thavasa ~ 365日、毎日が記念日~」のCMを継続して放映してまいりました。秋のCM「Samantha Thavasa ~世界にひとつのサマンサを。~」では、新作の「"M Chou Chou" ~エムシュシュ~」シリーズを紹介いたしました。

また、EXILE のD. N. A を受け継ぎ本格的なダンスパフォーマンスを展開する女性グループ「E-girls」の楓さん、藤井夏恋さん、藤井萩花さん、佐藤晴美さんが出演し、当社グループの本年度のテーマである「記念日」と連動した「E-girls」の最新曲「Anniversary!!」をCM楽曲とした、「Samantha Vega meets E-girls」のCMを放映いたしました。

さらに、「GENERATIONS from EXILE TRIBE」の白濱亜嵐さん、片寄涼太さん、佐野玲於さんが出演した、「Samantha Vega New CM 2015 AW フェライト編/ラミディ編」のCMを放映いたしました。また、「乃木坂46」を迎え「-夢をかなえる力になる。-」をテーマとした「Samantha Thavasa Petit Choice」としては初となるTVCM

#### を放映いたしました。

また、アジア最高峰のリアルクローズファッションショー「神戸コレクション」「東京ランウェイ」に協賛し、「サマンサタバサ」やアパレルの新ブランド「And Couture」の新作商品をステージでお披露目いたしました。「神戸コレクション 2015 AW」では、先日オープンした「サマンサタバサ ターミナル7 ルクア大阪店」の7ブランドとアパレルブランドの「REDYAZEL」を紹介いたしました。

ジュエリー事業においては、Samantha Tiara & Samantha Thavasa "サマンサティアラ ジュエリー"の第3弾となる CMを放映し、「三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE」から、岩田剛典さん、今市隆二さん、登坂広臣さんが出演いたしました。また、本 CMのお披露目会が開業 3 周年となる東京スカイツリータウン ® で行なわれ、CM出演者による東京スカイツリー ® オリジナルブルーライティング点灯式も合わせて行なわれ話題となりました。

ゴルフ事業においては、当社グループが主催する日本女子プロゴルフトーナメントである「サマンサタバサ ガールズコレクション・レディーストーナメント 2015」を、7月17日(金)~19日(日)の3日間、茨城県・イーグルポイントゴルフクラブで開催し、大会3日間で過去最高の2万人を超える方にご来場いただきました。

#### <商品戦略について>

各事業の全ブランドにおいて多くの新作を販売し、多様化するファッションニーズに応える商品を積極的に展開してまいりました。また、商品の魅力をより高めるプロモーション活動や人気プロモーショナルモデルとのコラボレーション企画を継続し、商品の販売増に繋げてまいりました。

バッグ事業においては、日本テレビ系列の朝の情報番組「スッキリ!!」とのコラボレーション企画第3弾として、レザーならではの高級感とシンプルでありながらどんなスタイルにもあう多機能性を追求した5WAYバッグ「シャンクルール」を販売いたしました。また、高品質のレザー商品である「レディアゼル」「アゼルラフィー」「アゼルフルーリ」が堅調に推移いたしました。また、2015年秋のCMで紹介した、サマンサタバサの新作でニットとの相性も抜群のクラシカルなフォルムに、シンプルなリボンが可愛い「"M Chou Chou"~エムシュシュ~」シリーズを販売いたしました。また、昨春に続き三越伊勢丹グループ、バンダイとの共同企画で「美少女戦士セーラームーン」と4ブランドの協業商品を販売し、大好評となりました。さらに、バッグを始めスイーツやかわいい小物など、大人気の「ふなっしー」とのコラボで大きな話題になりました。D23 Expo Japan 2015の開催を記念した"ミニー・マウス"のサマンサグループ限定アートを使ったアイテムや、映画「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」の公開に合わせて「スター・ウォーズ」シリーズのバッグや小物、サンリオの人気キャラクター「マイメロディ」の40周年を記念したコラボレーションシリーズなど、話題性のある商品を販売いたしました。また、Samantha Thavasa / SAMANTHA KINGZから初となるMade in Japanの新時計ライン「サマンサウォッチ」の販売を開始し、サマンサならではのオリジナルデザインと日本製にこだわった高級感溢れる新時計ラインの発売が話題を呼んでおります。

ジュエリー事業においては、K18商品を中心に、「サマンサティアラ」の人気シリーズ「Swingle~スウィングル~」や「フラワーレターズ」などが堅調に推移いたしました。また、昨年度に大人気パールシリーズをプロデュースし話題となった「Samantha Tiara」のプロモーショナルモデル兼コラボレートデザイナーでもある紗栄子さんとのコラボレーションラインの新作ジュエリーを販売いたしました。さらに、高純度プラチナ素材がダイヤの美しさを引き立てる「Samantha LOVE Platinum 998」がデビューし、ブライダルシリーズの強化を図りました。また、「サマンサシルヴァ」ブランドでは、従来の素材より変色しにくいシルバー素材を使用した「Samantha Royal Silver 950」の販売を開始いたしました。

アパレル事業においては、株式会社ルミネと共同開発した新ブランド「And Couture」の販売を開始いたしました。当ブランドは、デベロッパーであるルミネと連携し、ブランドのコンセプトづくりや店舗の内装の段階から、ルミネ独自の世界観に合わせた商品開発を行ってまいりました。

## <組織再編等について>

アパレル事業の組織運営の効率化及び構造改革のため、株式会社レストローズを株式会社バーンデストジャパンリミテッドに吸収合併し、商号を株式会社バーンデストローズジャパンリミテッドといたしました。また、ゴルフ事業の組織運営の効率化のため、株式会社サマンサタバサリゾートを当社に吸収合併いたしました。

また、中国市場を運営するSamantha Thavasa Shanghai Trading Limitedについて、中国市場におけるブランド認知・浸透をより強化・徹底するために、全株式を取得し連結子会社といたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は308億37百万円(前年同期比10.6%増)、売上総利益は201億52百万円(前年同期比8.9%増)となりましたが、積極的な新規出店に伴う人件費や減価償却費などの先行投資やプロモーション活動に伴う販促費が増加したため、営業利益は13億56百万円(前年同期比18.6%減)、経常利益は13億73百万円(前年同期比22.2%減)となりました。また、アパレル事業構造改革費用、海外事業等再編費用など4億62百万円を特別損失に計上したため、四半期純利益は3億37百万円(前年同期比54.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

総資産は256億2百万円であり、前連結会計年度末と比較して36億16百万円増加しております。主な増加要因は、 商品及び製品が32億10百万円増加したことなどによるものであります。

#### (負債)

総負債は158億33百万円であり、前連結会計年度末と比較して37億16百万円増加しております。主な増加要因は、 短期借入金が20億92百万円、長期借入金が17億56百万円増加したことなどによるものであります。

#### (純資産)

純資産は97億69百万円であり、前連結会計年度末と比較して99百万円減少しております。主な減少要因は、利益 剰余金の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるSamantha Thavasa China LimitedがSamantha Thavasa Shanghai Trading Limitedの全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示該当事項はありません。

# 3. 四半期連結財務諸表

# (1) 四半期連結貸借対照表

	並連续入計左座	
	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 557, 379	3, 060, 751
受取手形及び売掛金	3, 271, 427	3, 096, 357
商品及び製品	7, 535, 192	10, 745, 684
仕掛品	30, 509	13, 967
原材料及び貯蔵品	452, 530	556, 368
その他	1, 045, 461	1, 096, 945
貸倒引当金	△1, 361	$\triangle 1,465$
流動資産合計	15, 891, 139	18, 568, 609
固定資産		
有形固定資産	1, 847, 671	2, 344, 751
無形固定資産		
のれん	813, 792	742, 742
その他	470, 853	540, 704
無形固定資産合計	1, 284, 645	1, 283, 446
投資その他の資産		
差入保証金	2, 369, 217	2, 876, 553
その他	593, 630	529, 613
投資その他の資産合計	2, 962, 847	3, 406, 166
固定資産合計	6, 095, 164	7, 034, 364
資産合計	21, 986, 303	25, 602, 974
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 452, 270	2, 639, 543
短期借入金	108, 600	2, 201, 400
1年内返済予定の長期借入金	960, 864	1, 605, 524
未払法人税等	1, 472, 905	9, 768
賞与引当金	244, 736	583, 976
その他	1, 729, 129	1, 908, 559
流動負債合計	6, 968, 504	8, 948, 772
固定負債		
長期借入金	5, 031, 376	6, 787, 769
その他	117, 554	97, 034
固定負債合計	5, 148, 930	6, 884, 803
負債合計	12, 117, 435	15, 833, 575

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 132, 600	2, 132, 600
資本剰余金	2, 252, 600	2, 252, 600
利益剰余金	5, 373, 964	5, 287, 468
株主資本合計	9, 759, 164	9, 672, 668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34, 651	37, 034
為替換算調整勘定	△139, 856	△141, 746
その他の包括利益累計額合計	△105, 204	△104, 711
少数株主持分	214, 908	201, 441
純資産合計	9, 868, 868	9, 769, 399
負債純資産合計	21, 986, 303	25, 602, 974

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
売上高	27, 891, 194	30, 837, 481
売上原価	9, 391, 543	10, 684, 791
売上総利益	18, 499, 650	20, 152, 690
販売費及び一般管理費	16, 833, 776	18, 796, 231
営業利益	1, 665, 873	1, 356, 458
営業外収益		
受取利息	994	477
受取配当金	577	630
為替差益	139, 121	29, 893
補助金収入	707	1, 964
その他	2, 930	16, 093
営業外収益合計	144, 332	49, 059
営業外費用		
支払利息	27, 364	27, 701
たな卸資産処分損	11, 926	_
その他	5, 111	4, 039
営業外費用合計	44, 402	31, 740
経常利益	1, 765, 803	1, 373, 777
特別損失		
固定資産除却損	27, 459	66, 210
固定資産売却損	42	_
海外事業等再編費用	_	147, 339
アパレル事業構造改革費用	_	247, 550
その他	_	935
特別損失合計	27, 502	462, 035
税金等調整前四半期純利益	1, 738, 301	911, 741
法人税、住民税及び事業税	939, 499	589, 711
法人税等調整額	119, 014	△5, 137
法人税等合計	1, 058, 514	584, 574
少数株主損益調整前四半期純利益	679, 787	327, 167
少数株主損失(△)	△59, 843	△9, 888
四半期純利益	739, 631	337, 055

# 四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	679, 787	327, 167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14, 205	2, 383
為替換算調整勘定	19, 970	△5, 467
その他の包括利益合計	34, 175	△3, 084
四半期包括利益	713, 962	324, 082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	759, 773	337, 549
少数株主に係る四半期包括利益	△45, 809	△13 <b>,</b> 466

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当社グループは、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。